

普及活動情勢報告（令和8年5月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ニラの定植を体験してもらおう！ ～農福連携「畝の会」ニラの定植体験会～



苗を移植機で
定植していく体験者

4月22、23日、香南市・香美市の農家・関係機関で農福連携を推進する「畝の会」がニラの定植体験会を開催し、事業所等の利用者や支援者延べ12名が参加しました。

農業改良普及課は、農家や福祉保健所、事業所と体験の日程や内容について検討し、当日は農家とともに良い苗の選別や移植機の使い方、植え付けの深さ等を指導しました。

最初は不安そうだった体験者もすぐに移植機の操作に慣れ、苗を渡す農家や普及員との連携もスムーズになり、手際よく定植作業が進みました。

農業改良普及課では、今後も関係機関や農家と連携し、農福連携を推進していきます。

よりよいメロン栽培を目指して！ ～香美地区メロン部会現地検討会～



現地検討会の様子

4月23日、JA高知県香美地区メロン部会が現地検討会を開催し、生産者3名が参加しました。

農業改良普及課は、次作へ害虫を持ち越さないための栽培終了時の対策について説明しました。種苗会社からは、現在の樹勢と今後の管理について説明があり、活発な意見交換が行われました。

生産者からは「蒸し込み時に注意しないと行けないことは何か」等の質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、メロンの安定生産を支援します。

良い苗を作ろう！ ～香美地区ニラ部会栽培講習会・現地検討会～



苗の状況を見る参加者

5月1日、JA高知県香美地区ニラ部会（夜須・香我美支部）が栽培講習会及び現地検討会を開催し、生産者7名が参加しました。

農業改良普及課は、管内のアザミウマ類の発生状況および熱中症対策について説明しました。現地では育苗用ハウスにて苗の生育状況を確認しました。

参加者からは「寒冷紗の設置はいつからしたほうがいいのか」「生育が良くないと思ったら土壤が乾いていた」などの自身の体験談を含めて意見交換する姿がみられました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの安定生産を支援します。

部会を担う若い力！！ ～やっこねぎ部会青年部定例会～



熱心に説明を聞く出席者

5月8日、JA高知県香美地区やっこねぎ部会青年部の定例会が開催され、生産者9名が参加しました。

会では、11月に行う県外視察について協議されたほか、農業改良普及課からは品種試験と肥料試験の結果について報告しました。また、管内で発生が確認された萎凋病の注意喚起を行い、対策として効果的な土壌消毒の方法を説明しました。

出席者からは「試験した肥料を使ってみる」「土壌消毒を行う」といった前向きな声上がり、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も青年部の活動に協力し、部会の発展を支援します。

稼げる農業の実現に向けて！ ～南国市営農改善会企画部会～



今後の活動計画について協議する部会員

5月18日、市、JA、振興センター等で組織する南国市営農改善会企画部会が開催され26名が出席しました。

会では主力品目のシシトウ、ピーマン、ニラ、露地有望品目のキャベツについて、農業改良普及課とJAの担当者がR7年度取組実績およびR8年度計画を報告しました。

他地区との合同現地検討会の実施やデータを活用した病害対策、包装形態の変更に向けた取組等について説明があり、企画部会員から成果の確認や取組の評価、今後の活動に向けた提案など多くの意見が出されました。

農業改良普及課は、R8年度活動計画や企画部会での提案等をもとに、関係機関と連携して産地の課題解決に取り組みます。

今年度の計画どうする？ ～青年農業士ブロック定例会～



対面、リモートのハイブリット形式で定例会を開催！

5月19日、青年農業士中央東ブロック協議会が定例会を開催し、青年農業士7名が参加しました。

会では、昨年度青年農業士から出された意見を元に農業改良普及課から今年度の活動内容を提案し、年間計画について協議しました。

「昨年度に引き続き、市場と連携したPR活動をしてはどうか」等の意見が出され、オンラインほ場見学ツアーを行う方向で進めることになりました。

農業改良普及課は、今回出された意見を実現するために、関係者と調整を行うとともに、青年農業士と役割分担して活動します。